

令和4年度一般会計補正予算 6億6374万円を追加し
総額282億9340万円

住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業費

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、生活・暮らしの支援を行うため、令和4年度住民税非課税世帯や家計急変世帯に対し、1世帯当たり10万円の特別給付金を支給するための費用 1億6241万円



感染症対策事業費

新型コロナウイルスワクチンについて、4回目の追加接種および12歳〜17歳の3回目接種の費用 7254万円

清掃総務一般管理費

コロナ禍でも停止できない事業を行う一般廃棄物収集運搬許可業者と浄化槽清掃許可業者に対し、20万円を上限として感染症対策経費を補助 100万円

津屋崎行政センター管理事業費

郷づくり推進協議会が津屋崎行政センターを使用するための改修費用 1064万円

津屋崎公民館管理運営費

老朽化が進んでいる津屋崎公民館の解体工事費用 6299万円

子育て応援食育推進事業費

コロナ禍の子どもたちの食を確保し地産地消を推進するため、中学校終了前までの子どもを養育する世帯に対し、市内産直施設で使用できる「子育て応援券」を1世帯当たり1万円分配布する費用 6996万円



子育て応援券が使える産直施設の新鮮野菜

観光事業費

令和4年11月に市内で開催予定の将棋の「第35期竜王戦」について、実行委員会に対し交付する補助金 677万円

農業振興一般管理費

市内のぶどうなどの果樹栽培農業者の経営改善を支援するため、高付加価値化が期待される優良な品種への改植や新植、優良苗木の導入等に対して交付する補助金 577万円

①学校給食施設整備事業費

②小学校校舎施設整備事業費

津屋崎小学校敷地内に建設予定の共同調理場と教室等の複合棟について、資材の高騰への対

応と設計内容の精査により増額する整備事業費

- ① 1億490万円
- ② 2680万円

小学校校舎施設整備事業費

新設小学校の建設に向け、学校用地の測量調査、不動産鑑定、物件補償調査等を行う費用 4614万円

中学校校舎施設整備事業費

新設中学校の建設に向け、学校用地の測量調査、不動産鑑定、物件補償調査等を行う費用 4728万円

予算審査特別委員会において予算案に対する*付帯決議案を提出

賛成多数で可決

- 新設校を含む市全体の財政見通しを策定し、議会に対して説明責任を果たすこと
- 新設校および通学路の安全安心が担保されること
- 児童・生徒の保護者、地域住民、議会に基本設計をする前までに説明および周知を図ること

*付帯決議とは議案に対して委員会の意見や要望を付した決議

追加議案（補正予算）

学校給食事業費

物価高騰の影響を受けている小・中学校、公立幼稚園の給食について、質や量を保った学校給食の継続、保護者の負担軽減を行うための補助金

2435万円

4月臨時会

工事請負契約を締結

全員賛成で可決

福岡中学校給食棟増築他工事の工事請負契約を締結。

主な質疑

問 国際情勢が不安定だが、この影響により工事完成の延期はあり得るのか。

答 現段階ではわからないが、状況に合わせて協議をしながら期間内に工事が終わるよう努力したい。

問 契約には工事以外の備品等は含まれているのか。

答 今回の増築工事には、スチームコンベクションなどの機器の追加も含まれている。

（総務文教委員会審査報告）

6月定例会

財産の取得について

全員賛成で可決

津屋崎古墳群史跡等買上げ事業用地として財産を取得。

主な質疑

問 古墳公園用地購入費および物件補償費の費用と財源は。

答 現時点での費用総額は、10億6886万2312円で、財源内訳は、国庫補助金が80%、県費補助金が8%、残りの12%が市費である。

問 カントリーエレベーター解体工事で補助費以外に費用はかかるのか。

答 PCB（ポリ塩化ビフェニル）等があれば処理費等が別途発生する。それ以外は全額補償費の中に含まれている。



解体されるカントリーエレベーター



開設された未来共創センター

市未来共創センター条例を制定

全員賛成で可決

福津市第2期SDGs未来都市計画に基づき、市民活動を促進する市未来共創センターを開設するため、条例を制定。また、この条例制定に伴い市ボランティアセンター条例を廃止。

主な質疑

問 職員の配置は何人か。

答 会計年度職員を含め、2名程度の常駐を考えている。

問 センターで企画立案される事業実施のための予算措置は。

答 令和4年度から3年間は債務負担行為で予算措置を行っている。財源は2分の1が国の交付金で残りが市費である。

問 未来共創会議のメンバーの予定は。

答 これまでの条例素案策定に行政職員を含む7人が参加している。条例制定後に、7人の継続も含めて検討し、選任する。

（総務文教委員会審査報告）

意見書

環境教育の推進及びカーボンニュートラル達成に向けた学校施設のZEB化のさらなる推進を求め



提出者 蒲生 守
賛成者 中村 晶代
高山 賢二
横山 良雄
中村 清隆

決議

福津市福祉会館 夕陽館の早期再開を求める決議

提出者 戸田 進一
賛成者 榎本 博
石田まなみ
田中 純子

賛成少数で否決

子育て世代包括支援センターおよび地域包括支援センターの現状と課題について調査

①子育て世代の人口が急増する中、妊娠・出産・子育て期の総合的な相談窓口や、就学前までの情報が一元的、継続的に集約されていないことについて調査した。

②高齢者人口の増加とともに、相談件数も年々増加し、相談内容も多岐にわたって複雑化していることについて調査した。

(市民福祉委員会所管事務調査)

①子育て世代包括支援センター

同支援センターの主な業務は、母子手帳の個別交付、乳幼児健診、保育所や幼稚園などの関係機関からの情報収集と蓄積を一本化し、妊産婦および乳幼児の実情を把握すること、総合相談窓口として必要な情報提供・助言・保健指導を行っている。職員構成は、保健師、助産師、管



子育て世代包括支援センターでの相談の様子

理栄養士、保育士、社会福祉士など16名体制で、必要に応じて複数の関係機関と連絡調整を行っているが、業務に当たっている。

委員会としては、子育て世代包括支援センターの設置により、全ての妊産婦や乳幼児の実情把握が可能となり、支援を必要とする対象者にこれまで以上にきめ細やかな支援を提供できるようになったと考える。さらに、こども家庭センター設置の動きもあり、体制や支援のあり方について研究していく必要がある。

②地域包括支援センター

同支援センターの設置場所について、国は中学校校区毎を推奨しているが、本市では市の面積、窓口の分かりやすさ、地域内のサービスの質の均一性およ



ふくとぴあ内の地域包括支援センター

び他の機関との連携のしやすさを最大限に発揮させるため、市内1カ所としている。総合相談件数は年々増加し、令和3年度は延べ約1万1200件が見込まれ、内容は主に介護に関するものとなっている。

委員会としては、地域包括支援センターは、地域包括ケアシステムを構築する機関として重要であると考える。増加する相談内容も介護のみならず、医療、保健、障がい、権利擁護、高齢者虐待など多岐にわたり複雑化しており、その対応についても、必要な施策を講じていくことが期待される。

陳情

○地域医療を守り、医療・介護・福祉、公衆衛生の拡充を求める意見書を国に提出してください
福岡県社会保険推進協議会

○「補聴器購入補助等の改善をはじめ、難聴(児)者への支援拡充」を求める自治体意見書採択についての陳情書
福岡県保険医協会

○女性トイレに関する陳情書

女性スペースを守る会

○保育所等の最低基準(職員配置・面積基準)と、職員処遇の抜本的な改善を求める意見書の提出を求める陳情書
福岡県保育団体連絡会

○国民の祝日「海の日」を7月20日に固定化する意見書の提出を求める陳情
海事振興連盟

○沖縄を「捨て石」にしない安全保障政策を求める意見書の提出を求める陳情

辺野古を止める！全国基地引き取り緊急連絡会

海洋環境の現状と対策について調査

近年の気象変動や海洋ゴミによる自然環境の悪化が進んでいる。市内の海岸全域に係るゴミの現状と処理、海藻による悪臭、竹柵の維持管理などの課題を調査した。

(建設環境委員会所管事務調査)



海岸清掃をするボランティア

海洋ゴミは市内海岸全域で発生している。うみがめ課では衛生的な措置が必要な場所について、重機による漂着ゴミの引き上げ処分、シルバー人材センターによる人力清掃を行っている。地域振興課では観光資源に係る場所について、重機による砂浜の清掃・整地を行っている。また、年間を通してボランティア団体(21団体)による人力清掃が行われている。

アオサは一般的には3月下旬に漂着・堆積・腐敗するため4

月下旬に重機による除去作業を行っている。処理方法としては、漂着ゴミを取り除き、埋めて自然に戻すことで処理している。

農林水産課では、飛砂の対策として竹柵の更新を行っている。竹柵は、平成30年度までに掘切から勝浦浜までの2700mに設置されていたが、経年劣化や強風により一部破損している。

堆積砂・飛砂の影響は、勝浦松原地区に強く出ており、場所によっては2mの竹柵を超えて砂が堆積している箇所もある。地元との協議の結果、国は防風林にクロマツを植樹、市は竹柵を継続的に管理・更新することとなった。堆積砂については、勝浦浜海岸は海岸保全区域ではなく一般公共海岸であるため、県が着手しづらい状況がある。しかし、生活環境や農作物に被害が出ており、早い段階で解決に導くよう県と協議を継続して



破損した竹柵と堆積した海砂

いく。

委員会としては、海岸は重要な観光資源と考える。ボランティアは、きれいな海岸線を守るために尽力している。しかし、地域差があるなどの課題もあるため、市民への意識啓発をお願いしたい。

アオサなどの回収は、天候や海流により漂着時期が大幅に変化することや、回収が難しい磯場の清掃をどうするかなどの課題もある。

竹柵については、更新予算と破損箇所の補修予算の双方の確保が重要である。砂の堆積については、県との早急な対策協議が必要である。県の協力が得られないならば、市単独でも砂の撤去を行うべきと考える。

○児童福祉の環境改善に関する陳情書

全国の児童相談所が行う子どもに対する人権侵害を阻止する会

○子ども家庭庁発足に先立つ児童相談所の早期改善に係る意見書の提出に関する陳情書

全国の児童相談所が行う子どもに対する人権侵害を阻止する会

○山口県岩国児童相談所の不作為による要保護児童の自殺に関する陳情書

全国の児童相談所が行う子どもに対する人権侵害を阻止する会

○こどもの健全な成長・発達のための学校での児童・生徒のマスク着用に関する陳情書

福津 こどもの未来を守る会

